

林野庁長官賞



北海道 一般社団法人 帯広サドベリーの風
帯広市立大正小学校 6年
久保 咲楽さんの作品

札幌のカフェでお茶している時に窓にハヤブサがぶつかってきました。「こんなかわいい鳥が、こんな都会にいるのか！」と驚きました。札幌の空を悠々と飛んでいるハヤブサの姿を描いてみたいと思いました。キレイな羽根の模様を一枚一枚描く作業は大変でしたが、ハヤブサのかわよさが伝わる絵になったと思います。

次に描く時には立体感がしっかり出るように、もっと思い切っってはっきりした影の色を入れられるようになりたいです。



群馬県 前橋市立粕川中学校 3年
松島 遥野さんの作品

今回は「人間と野鳥の共存」というのをテーマにして作品を制作しました。森林伐採によって拡大する太陽光発電など、野鳥が生息しづらい環境になりつつある現代。幸い私の住む周りの環境にはキジをはじめ多くの野鳥が見られます。そんな様々な野鳥が生活しているこの緑豊かな自然の中で、「互いに支え合い共存していきたい」という願いで筆を走らせました。遠くの方に見える人間の住む絶景や電柱、間接的に人間を感じさせる数頭の牛など、この一枚のポスターの中にも実は多くのところで人間の存在を感じることができます。この作品を通じて自然の営みや環境問題への理解が深まってくれたら幸いです。最後になりますが、この度はこのような素晴らしい賞をいただき有難うございます。今後は、受賞を励みにより一層日々の創作活動に取り組んでいきたいと思っています。この度は本当に有難うございました。



鳥取県 鳥取県立倉吉東高等学校 2年
富澤 愛さんの作品

これまでに二度このコンクールに出品しましたが、鳥の描写に意識が向き、背景を十分に描けていませんでした。鳥の美しさは周りの景色と調和してこそ引き立つと考え、今回は背景にも力を入れて制作しました。その結果、初めて入賞することができ、とても嬉しかったです。今後も試行錯誤しながら、より良い作品づくりに取り組んでいきたいです。